

星空案内

449

年末恒例、天文クイズ

山形大理学部 柴田晋平教授

世界共通で使うことが国際的に決まっている星座は全部で88あり、南北や大小のペアになっている星座がいくつかあります。年末恒例になったクイズは星座のペアに関する問題です。その前に少し星座の起源のお話をしましょう。

88星座のもとになったのは古代オリエントから伝わる48星座です。皆さんがよくご存じのオリオン座、ふたご座、おとめ座など大部分はこの48星座に含まれています。近世に入り、ヨーロッパの人々が大航海時代を迎えると、南十字に代表されるような南半球から見える星座が追加されました。さらに、48星座の隙間に小さな星座が追加されました。

ところが、星座が新しく

88星座 入れなかったのは？

きたばえ(蠅)座	はえ座
さんかく座	みなみのさんかく座
うお座	みなみのうお座
かんむり座	みなみのかんむり座
おいぬ座	こいぬ座
おぐま座	こぐま座
しし座	こじし座
うみへび座	みずへび座

【図1】クイズ



図2 きたばえのおよその位置

やまがた天文台

山形市の山形大小白川キャンパス内。毎週土曜日、星空ガイドツアーを開催。時間は午後6時15分～、同6時45分～、同7時15分～。参加料は小学生以上200円。問い合わせは山形大インフォメーションセンター023(628)4050

付け加えられると同じ場所に二つの名前が割り当てられるなど混乱が生じました。そのため、国際天文学連合で1928(昭和3)年に88の星座を決めて全世界で共通に使うこととして混乱が生じないようにします。全天下をくまなく88の領域に分け、それぞれに名前をつけたのが88星座です。この方法だと、どの星もどれかの星座に属することになります。星座の形を作るとき、星と星を線で結びます。これを星座線といいます。これを星座線とい

短信



クイズの答え

88星座に採用されず廃れた星座は「きたばえ座」のみで、あとはすべて88星座です。